

TOMONI

【校訓】共に語らん 共に学ばん 共に進まん

【キーワード】 チーム和ークで、感動を共有

中学生のまっすぐな心で見ていると……

日本選手団の頑張りが目立った北京オリンピック、金メダル目前で転倒してしまったスピードスケート女子パシュート。当の選手の悔しさはいかばかりかと思いますが、あの瞬間を中学生はどのように感じたのでしょうか。あるいは、スキージャンプ混合団体での規定違反。その後も気を取り直して4位まで追上げた姿は見事でした。フィギュアスケートの羽生選手の挑戦は、小学生の頃に「4回転アクセルを跳ぶ」と誓ったあの頃の自分への挑戦なのだそうですね。絶対王者と言われたスノーボード・ハーフパイプのホワイト選手の王者交代に伴う去り際もカッコよかったなあと思います。

先日、元Jリーガーの福井諒司さん（柏レイソル、東京ベルディ、水戸ホーリーホック、FC琉球などで活躍）が来校し、サッカー部と一緒に汗を流してくれました。部員が「なぜプロ選手になろうと思ったのですか？」と質問すると、福井さんは「小学2年生の時にサッカーを始めて、好きですと続けてきました。高校・大学になると将来のことも考えるようになり、このくらいの才能でこれから大丈夫なのかと不安になったけど、好きで始めたことなんだからいけるくらいまで頑張ってみると覚悟を決めました。縁があってプロチームから声をかけてもらって昨年の12月まで現役を続けることができました。」と答えてくれました。

オリンピックで見た涙、あるいは元Jリーガーのお話。努力したことが必ず報われるとは限らないけれど、努力しないことには始まらない。素直で前向きな友二中学生の心にすっと入り込んでくれたらいいなあと思いました。



お耳拝借

無事に下校できているか通学路の見回りをしていると、道路を横切るために横断歩道で待っている本校生徒を見かけました。通りがかった車が止まって、中学生の横断を促すと、生徒たちはその運転手に向かってお辞儀をして横断歩道を渡り始めました。礼儀正しいって気持ちのいいことだなあと思いました。

さらに車を走らせると、また別の生徒を見かけました。車の窓を開けて「気を付けて帰ってね～、さようなら～」と声をかけると、「はい、さようなら～」と答えながら手を振ってきました。なんてかわいいいでしょ！

（中学生にかわいいっていうのは、失礼なのかな？）



福井さんの貴重な経験談を聞きました



卒業まであと少し

- 3年生の今後の予定を確認してみると、
- 7日 3年生を送る会
- 11日 卒業式
- 14日 合格発表
- 18日 第2次学力検査
- 23日 第2次合格者の発表

中学校生活も、残りあとわずかですね。卒業式は、卒業生と職員、保護者（2名以内）で行います。厳かで、かつ温かい卒業式にしたいと思います。

いただきま～す

3年生の給食も残り少なくなりました